

神奈川県建設産業構造改善推進大会

建設トッ プランナー 米田 雅子氏が講演



建設トッ プランナー 米田 雅子氏

「復興による雇用創

「命の道」が求

が建設業界。釜石支部は、大

わたっている。これからがス

「命の道」が求

平時でも役立つ防災対策を

「命の道」が求

神奈川県が25日に開いた2013年度建設産業構造改善推進大会で、建設トッ

講演の要旨は次の通り。

■大震災復旧・復興―地域建

仙台建設業協会は、発災の

直後に行動を起こした。震災

前に防災訓練を行い、自社の

持ち場を把握していたことも

功を奏した。岩手県の釜石で

も行政が一番最初に頼ったの

業である建設業だ。

■東北復旧・復興の計画と現

状

ほとんどの地域で復興計画

はできている。しかし、その

実行は大きく遅れているのが

現状。用地買収や手続きに追

板となり、被災工場の再建に

使用。さらに劣るものは石炭

火力発電所の燃料として買い

取ってもらう。

上野伊地域復興住宅協議会

では地域材を使った復興住宅

に取り組んでおり、注文が殺

到している。しかし、建てる

場所がなく、早期には進まな

い状況だ。

■巨大地震への防災・減災の

方向

これまで、大型地震は、

「ほぼ同じ場所が起こる」と

されていた。しかし、これは、

被害の再発防止を目的とする

方向

異なる準拠法令、定義、適

用規格などがあり、法制度の

工夫が必要だが、国土強靱化

の今がチャンス。

関東から九州にかけての太

平洋沿岸では

「命の道」が求

められており、

新たな考え方で

ネットワークを形成すべき。

基本的には津波に強い高架

道路の構築が必要。国道や高

速道路における「ミッシングリ

ンクの早期解消が求められる。

■まとめ

地域防災の最前線として、

地域建設業への期待は大き

い。まず、自社の安全体制

（BCP）を確立してほしい。 皆の知恵を集めないと、大規模災害には対応できない。 まずは、周囲にある資源を使